

**研究主題 喫緊の教育課題に対する実践的な教育内容・方法について**  
 ～ 喫緊の教育課題及び実践例について理解を深め各学校における学校経営に生かす ～

**I 団体の概要**

東京都知的障害特別支援学校長会主催研修会は、東京都立特別支援学校(知的障害)の校長45名で構成されている。毎月行われている校長連絡会と同日に研修会を開催し、喫緊の教育課題について共通理解を図っている。併せて喫緊の教育課題に対する各校の先進的な実践事例について情報交換を行い各校における学校経営に生かしている。

**II 研修の目的**

学校を取り巻く環境は急激に変化し、喫緊の教育課題が山積している。課題解決を図るため、管理職のリーダーシップの下、各学校において、課題を共通理解し、具体的な対応策を検討して組織的・機動的に実施していくことが求められている。

本団体では、喫緊の教育課題を学校間で共有するとともに、教育課題に対して先進的な取り組みを行っている学校が具体的な実践内容・方法を紹介し、本会員が、その事例を参考に各学校の教育活動の充実に図ることを目的としている。

**III 研修の方法**

東京都の研究指定を受けている学校を中心に、毎月1校から2校が具体的な課題と課題解決に向けた取り組みを本研修会で報告する。全体会で、質疑応答をして理解を深める。その後、学校に設置されている学部ごとに3班に分かれて、報告内容に基づきさらに深めた情報交換を行い、その内容を各学校の学校経営に生かしている。

**IV 研修内容**

実践報告（実践報告・情報交換・実践研修・還元研修）

回	実施日	テーマ
1	6月6日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>知的障害教育における教育課程の充実</li> <li>知的障害の状況や程度に応じた指導の在り方の研究</li> <li>C S V（センター的機能スーパーバイザー）の事業</li> </ul>
2	7月4日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援学校における知的障害のある子供への性教育</li> </ul>
3	8月23日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>難しくなる保護者との対応トラブルを考える</li> </ul>
4	10月3日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>練馬特別支援学校の職能開発課の開設</li> <li>南多摩地区特別支援学校の開設</li> <li>児童生徒の自殺予防に関する普及啓発</li> </ul>
5	11月7日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>知的障害の程度の重い児童・生徒のデジタル活用</li> </ul>
6	12月5日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル教材の開発</li> </ul>
7	2月13日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>芸術系大学等と連携した芸術教育の推進事業</li> </ul>
8	3月5日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間のまとめ</li> </ul>

## V 研修事例

### 1 特別支援学校の管理職としての保護者対応について

令和5年8月23日（水）に内外教育の連載を始め多くの執筆、講演会等で御活躍をされている、小野田 正利 氏 大阪大学名誉教授を講師としてお招きし、難しくなっている保護者との対応トラブルについて御講演をいただいた。



保護者対応トラブルを「生きづらさや葛藤を抱えている保護者への対応」「違法行為・不当要求への対応」「問題が別に起因している場合への対応」の大きく三つに分けて、推測される背景要因と対応ポイントについて、具体的な事例を基に御教授いただいた。

### 2 知的障害の程度の重い児童・生徒のデジタル活用について

東京都特別支援教育推進計画（第二期）第二次実施計画に基づいた「知的障害の程度の重い児童・生徒のデジタル活用事業」の指定校である、調布特別支援学校の原田 勝校長から御講演をいただいた。知的障害の程度が重い児童・生徒の知的発達の状態に応じたアプリケーション等を活用した指導内容・方法の研究・開発の状況について、具体的な説明をいただいた。情報に精通した人材の育成・確保やデジタルサポーターの活用方法、外部専門家の確保・活用、効果的、計画的な予算計画等、多岐にわたり御教授いただいた。



## VI 研修の成果と課題

東京都の研究指定を受けている学校の取り組みを中心に報告を行ったことで、先進的な取り組みをいち早く共有することができた。また、情報共有を進めていく中で、各学校の取組や課題を知り、自身の学校経営を振り返り、紹介された実践を自分の所属する学校に取り入れ、方針や考え方を学校経営に生かすなど、専門性の向上、学校の教育力の向上に役立てることができた。

校長連絡会の後の開催ということで、開催時間も限られており、実践報告に対する質疑応答を行い、情報共有を深めたり、各班に分かれて情報共有を深めたりする等の時間を十分に確保することができなかった。

夏期休業中に講師を招聘し実施した「保護者との対応トラブルを考える」をテーマとした実践研究会は非常に有意義であった。

今後も変化の激しい昨今において、適時な教育課題を取り上げ、知的障害特別支援学校の教育の充実・発展のための研修に取り組む。

### <令和5年度連絡先>

団体名		東京都知的障害特別支援学校長会主催研修会	
代表者	所属	東京都立羽村特別支援学校	
	職 氏名	校長 外山 裕介	
	連絡先	042-554-0829	
事務局	所属	東京都立清瀬特別支援学校	
	職 氏名	校長 古舘 秀樹	
	連絡先	042-494-0511	
団体ホームページ	URL	—	二次元コード
		—	—